

令和7年度の子育て・教育関連の主な事業（第2期廿日市市教育大綱基本方針別）

※ ㊦は「新規事業」を、㊧は今までの事業を拡充したことを表しています。

《基本方針①》

まち全体で子どもを育てます

佐伯高校の魅力化支援（中山間地域振興事業） 2,559万円（前年度 2,549万8千円）

地域の中学生の進学先確保及び将来の担い手育成のため、地域一体となって佐伯高等学校の魅力化支援を行っています。

- 公営塾学習支援員報償費等 1,403千円
- 下宿改修費補助金 2,000千円
- 下宿費補助金 16,920千円
- 通学費補助金 2,867千円
- 活性化支援事業補助金 2,400千円

㊦ 男性の育児休業取得の推進（商工業振興事業・産業まちづくり事業） 660万円

市内企業で働く男性従業員が育児休業や子の看護等休暇を利用した場合に、企業に対し奨励金を支給します。企業、地域、住民が一体となって、オールはつかいちでこども・子育て世代を応援し、「子育て世代に選ばれ続けるまち」づくりに取り組みます。

- 男性育児休業取得促進奨励金 5,000千円（上限500千円×10事業者）
- 男性の子の看護等休暇制度導入奨励金 1,000千円（100千円×10事業者）
- はつかいち子育て応援宣言企業登録事業（ステッカー印刷費、宣伝費など） 600千円

㊦ 0歳児から2歳児の保育料の負担軽減 △1,462万円（歳入減）

0～2歳児の保育料について、保育料算定時に多子世帯のこどもをカウントする際の「年齢制限」と「保育施設利用要件」を廃止します。これまではカウントされなかった小学生以上のこどもをカウントに含めることにより、多子世帯の負担を軽減します。

- 保育園使用料・保護者負担金 △14,620千円

㊧ 病児保育の利用を無償化（病児・病後児保育事業）

2,231万8千円（前年度 1,270万3千円）

働く保護者が安心して子育てをできるよう、病児保育室を利用する際の年間登録料及び利用料を、令和7年4月から無償化します。

- 病児・病後児保育事業委託料 22,318千円

⑨ 「ほいくの未来応援補助金」の創設（私立保育園運営事業） 2,895万円

私立認可保育施設に勤務する職員の新規採用・就業継続・離職防止に向け、令和7年度から新たな補助制度を創設します。

- ①新規採用の常勤保育士に一時金を支給します。
- ②継続して勤務する常勤職員に奨励金を支給します。
- ③保育補助者の保育士資格取得の経費を補助します。
- ④施設独自の事業や研修について補助を行います。

- ほいくの未来応援補助金 26,200千円
- 保育士資格取得支援補助金 250千円
- まちぐるみ子育て支援補助金 2,500千円

⑩ こども計画の策定（児童福祉一般事業） 500万円

国の目指す「こどもまんなか社会」の実現、市の「こどもが主役のまち はつかいち」宣言の具体化に向けた指針とするため、「廿日市市こども計画（仮称）」を策定します。

⑪ 子育て支援サイトの開設（保育園管理運営事業） 613万6千円

「こどもが主役のまち はつかいち宣言」に基づく本市のこども施策を幅広く周知するため、子育てしやすいまちの魅力発信に繋がる子育て支援サイトを開設します。

サイト内では、子育て期ごとの情報検索や子育てを支援する保育士等の求人情報など、子育てに関する様々な視点からの情報を掲載し、「子育て世代に選ばれ続けるまち」の推進を図ります。

- 子育て支援ホームページ作成等業務委託料 6,136千円

⑫ 児童会のICT化を推進（児童会管理運営事業） 743万7千円

留守家庭児童会にICTシステムを導入し、欠席など児童の登下会に関わる作業や保護者連絡をオンライン化することで、保護者負担及び放課後児童支援員の業務負担を軽減します。

- 機器利用料など 7,437千円

⑬ 宮島幼稚園の認定こども園移行（R7.10～）に伴う改修工事等（調理室などの必要な機能の整備）（保育園整備事業） 1億9,430万1千円（前年度 1億3,463万4千円）

令和7年10月から宮島こども園として利用するため、旧宮島幼稚園内に調理室、保育室など必要な機能を整備します。

- 工事請負費 181,170千円
- 門扉設置等工事 3,071千円
- 工事監理業務委託料 6,223千円
- 物品移転業務委託料等 3,837千円

⑧ 保育園利用者への各種支援（保育園管理運営事業） 2,344万6千円

- 公立保育園におけるお昼寝用簡易ベッドの試験導入 4,389千円
- 公立保育園における防犯カメラ設置等の環境改善 19,057千円
- 公立保育園でのおむつのサブスクリプションサービスの導入 (非予算)

⑨ あかちゃんオムツプレゼント事業（母子保健事業） 662万1千円

令和7年10月から、生後3か月、6か月、9か月、満1歳の計4回、産前産後サポートセンターなどでイベントと子育て相談を開催し、おむつ（2,000円相当）をプレゼントします。

- 報酬など 3,857千円
- 事務費（消耗品費 外） 2,764千円

⑩ 5歳児健康診査（相談）（母子保健事業） 988万4千円

5歳児に対して健診（相談）を行います。こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援や、生活習慣、その他育児に関する相談に応じます。

- 報酬など 8,832千円
- 事務費 1,052千円

⑪ 紙おむつ用ゴミ箱（児童福祉一般事業） 47万6千円

乳幼児の保護者が多く来所される子育て支援施設に、衛生面に配慮した紙おむつ用ゴミ箱を試行的に設置します。

- 使用料及び賃借料 476千円

⑫ 奨学金貸付制度の拡充（奨学金貸付事業） 5,898万円（前年度 714万7千円）

将来の社会の創り手となる人達が希望に沿って安心して就学できるよう、制度の見直しを行います。

- ①貸付月額を増額
- ②他制度と併用可能に変更
- ③返還期間を10年以内から15年以内へ延長
- ④家計基準の見直し

- 貸付金（拡充分） 51,840千円
- ※貸付金総額 58,320千円
- その他手数料 660千円

《基本方針②》

たくましく自立し、学び合い高め合う教育を推進します

⑧ 体育館への空調整備の検討（小学校リニューアル事業・中学校リニューアル事業）

2,000万円

学校の教育環境及び災害時の避難所における生活環境の充実を図るため、小・中学校体育館への空調設備整備に向けた調査検討を行います。

- 屋内運動場空調設備整備調査検討業務委託料 20,000千円

休日部活動地域移行モデル（学校教育振興一般事業）

869万円8千円（前年度 945万円）

生徒がスポーツ、文化芸術活動に取り組むことができる環境の整備及び教員の働き方改革の推進を図るため、中学校における休日部活動地域移行モデル事業を引き続き実施するとともに、将来的な地域展開に向けた連携体制の検討を行います。

- 地域連携型 土日の部活動に外部指導者を派遣 2,979千円
- 地域移行型 土日の地域クラブ活動に生徒が参加 2,969千円
- 地域移行体制検討 モデル事業を踏まえた地域移行・連携体制の検討 2,000千円
- 地域移行実証事業 750千円

⑨ 不登校総合対策事業 2億3,645万1千円（前年度 2億366万5千円）

不登校の段階に応じた支援や環境の充実を図ります。また、特別支援学級に在籍する発達障害等のある児童生徒に対する特別な教育的支援を行います。

- 子ども相談室主任指導員報酬 4,897千円
- 青少年指導員報酬 16,146千円
- 子どもつながり支援員報酬 148,723千円
- 職員手当など 23,799千円
- 子どもつながり看護員報酬 2,957千円
- その他経費 39,929千円

⑩ 体育館へのWiFi整備

（小学校ICT活用教育推進事業・中学校ICT活用教育推進事業）

335万3千円

タブレットを使った授業が出来る環境を整備するため、Wi-Fi未設置の小・中学校体育館への、WiFi設置に向けた設計を行います。

- 体育館新教育系無線アクセスポイント設計業務委託料 3,952千円

⑧ 安全で効果的な水泳授業（小学校教育振興一般事業・中学校教育振興一般事業）

3,130万9千円（前年度 1,830万6千円）

児童生徒の泳力の向上及び教員の働き方改革の推進を図るため、小・中学校における水泳指導の業務委託の実施校を追加し、民間事業者の施設・ノウハウを活用した水泳授業を実施します。

- 小学校水泳指導業務委託料 27,566千円
- 中学校水泳指導業務委託料 3,743千円

《基本方針③》

いのちを大切にすることを育みます

⑨ 平和意識の醸成

（戦後80年非核平和事業・人権啓発推進事業・平和教育推進事業・図書館活動事業）

566万

戦後80年という節目の年を迎えるにあたり、平和の大切さを未来につなげるため、平和を祈念する様々な事業を通じて、市民の平和意識の醸成を図ります。

特に、戦争体験者や被爆者の高齢化が進む中、戦争や被爆の体験、平和への思いの継承・伝承がますます重要になっていることから、未来をつくる子どもや若者が、平和について考え行動できるきっかけとなるような事業などを全庁的な取組として展開します。

- 戦後80年非核平和事業委託料 4,000千円
- ヒロシマ平和学習受入プログラムへの児童・生徒の派遣
- ヒューマンシアター上映等業務委託料 250千円
- 平和教育推進事業（はつかいち平和の祭典実行委員会）委託料 900千円
- 図書館資料等の紹介を通じた平和事業（講演会・朗読会）の実施 謝金、委託料等 510千円

いじめ対策・未然防止（学校教育振興一般事業）

3,767万5千円（前年度 3,572万7千円）

生徒指導指導員、生徒指導相談員、特別支援教育アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等専門家の支援を受け、相談体制を充実させるとともに、いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会を活用し、いじめへの適切な対応とともに、いじめの未然防止に努めます。

- いじめ問題対策連絡協議会委員報酬 70千円
- いじめ防止対策委員会委員報酬 175千円
- 特別支援教育アドバイザー報酬(1名) 4,071千円
- 特別支援教育学校支援業務委託料 13,103千円
- スクールカウンセラー報酬 201千円
- スクールソーシャルワーカー報酬 8,719千円
- 生徒指導指導員等報酬 5,137千円
- 期末手当外 6,199千円

《基本方針④》

ふるさとに誇りと愛着をもつ心を育みます

⑧ 姉妹都市への青少年の派遣（国際交流事業） 583万6千円

コロナ禍で中断していた、姉妹都市ニュージーランド・マスタートンへの青少年派遣事業を再開し、外国語や海外文化に触れ合う機会を提供することで、国際交流に関わる人材の育成に努めます。

- マスタートン青少年派遣事業随行職員旅費 49千円
- マスタートン青少年派遣事業委託料 5,787千円

⑨ 宮島の歴史編さん関係（郷土資料館管理運営事業） 522万円

宮島の積み重ねた歴史とその価値を守り、正しく継承していくため、「宮島の歴史」の編さんに向けて準備を進めます。

- 宮島歴史民俗資料館収蔵資料調査業務委託料など 5,220千円

《基本方針⑤》

生涯にわたる一人ひとりの学びを支援します

**⑩ 市民センターのリニューアル、長寿命化等の実施設計及び工事
（市民センターリニューアル事業） 1億8,564万6千円**

生涯学習やまちづくりの拠点である市民センターを市民が安全、快適に利用できるよう、ユニバーサルデザイン化工事などを行います。

- 原市民センター リニューアル及びエレベーター設置工事実施設計業務等 13,181千円
- 宮園市民センター 外壁及び屋根改修工事実施設計業務等 3,680千円
- 四季が丘市民センター 外壁及び屋根改修工事実施設計業務等 3,630千円
- あさはらまちづくり交流センター ユニバーサルデザイン化工事等 148,546千円
- 宮島まちづくり交流センター（杉之浦） 空調設備改修工事 16,609千円

**⑪ 障がい者スポーツの推進（スポーツセンター等管理事業/スポーツ推進事業）
611万6千円**

障がい者のスポーツ機会の拡大を図るため、障がいのあるなしに関わらず誰でもパラスポーツを楽しめるスポーツイベント「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025」の本市開催に合わせて、機運醸成のための関連イベント等を開催します。

- インクルーシブ・スポーツ体験会開催業務委託料 1,500千円
- 障がい者スポーツ施設利用促進事業委託料 4,616千円

⑧ 女子野球タウンの取組（スポーツ推進事業） 3,350万円（前年度 3,295万6千円）

メディアを活用したプロモーション事業を実施することで、女子野球タウンの取り組みの認知度向上を図るとともに、女子野球の裾野拡大などを目指します。

- 女子野球シティプロモーション事業 30,000千円（廿日市市女子野球タウンフェスティバル）
- Tボール教室等開催 320千円
- 学生女子野球チーム遠征費支援業務委託 2,200千円
- 女子野球プロモーション活動 164千円 等

⑨ トップアスリートとふれあえるスポーツ教室等の開催（スポーツ推進事業）

203万8千円（前年度 203万8千円）

トップアスリートとふれあえる機会を設けることで、子どもたちが主体的にスポーツへ親しむ意欲を喚起し体力向上を図ります。

- トップアスリートふれあい事業等イベント参加者保険料 38千円
- トップアスリートふれあい事業 2,000千円

⑩ HIROHAI 佐伯総合スポーツ公園多目的広場の整備（公園整備事業）

8億1,792万円（前年度 8億2,218万円5千円）

公園内の多目的広場の整備工事を引き続き行い、令和8年2月の完成を目指します。スポーツを核としたまちづくり推進のため、幅広い年齢層による様々な各種スポーツ競技の活動や、イベント開催の出来る環境を整備します。

- 多目的広場整備工事 715,100千円
- 多目的広場整備工事施工監理業務 5,000千円
- 多目的広場競技用備品購入 50,820千円
- 多目的広場夜間照明設置工事 12,000千円
- 駐車場整備工事 35,000千円

⑪ はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあの改修

（はつかいち文化ホール等管理運営事業） 4,513万円

平成9年に開館したはつかいち文化ホールウッドワンさくらびあについて、天井の耐震改修及び施設・設備の長寿命化や施設のバリアフリー化などの改修に向けた基本設計を行います。

また、改修にあたり、設計、改修工事、維持管理について民間活力を活用する官民連携手法による事業方式及び従来方式を比較し、最適な事業方式の調査検討を行います。

- はつかいち文化ホール特定天井等改修工事基本設計業務委託料 31,130千円
- はつかいち文化ホール改修に係る官民連携手法導入可能性調査業務委託料 14,000千円